

ご利用者紹介

Aさん（80代男性）

既往歴：

- ・ギランバレー症候群
- ・脳梗塞

現在に至るまでの経緯

入院が続き、自身での摂取を拒み、食事介助に依存する状態にありましたが、「**また自分で食べたい**」という思いから再び自力での食事練習を始めました。

自助具の選定

アルク保有の各種自助具から、手指の握り難さに合わせ、手のひらに巻きつけることで**安定し、自然な動作を行える「万能力フ」**を採用しました。



装着しての練習

「掬う動作」「口へ運ぶ動作」
の練習から開始！



自主的なリハビリも再開！

依存的な面が和らぎ、意欲的な様子が増えました！



いざ、実践！！

ごはんを掬う際に苦戦はありますが、
食べ進めることで…

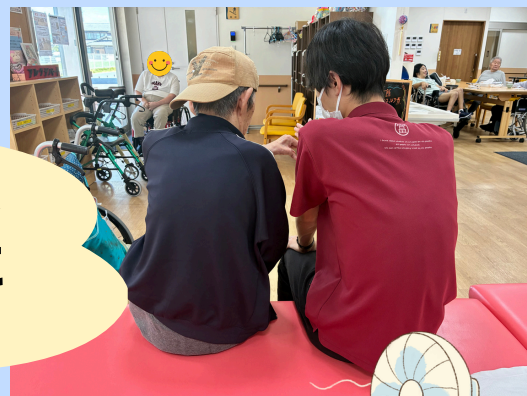
全介助→5割

まで自身で食べれるように！！



今後の目標は…

自助食器の活用も考えながら、
自分の力で食べられるように
頑張りたいです。



夏の疲れが出やすい時期です。皆様の体調にしっかりと
目を配り、効果的な機能訓練を提供してまいります。

